

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	令和3年度 第2回豊島区 生活安全協議会 セーフコミュニティ推進協議会 総合高齢社会対策推進協議会	
事務局 (担当課)	政策経営部セーフコミュニティ推進室 総務部治安対策担当 保健福祉部総合高齢社会対策推進室	
開催日時	令和4年1月13日(木)午後2時00分～午後3時00分	
開催場所	区民センター 多目的ホール	
議題	1 開会 2 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた各種取組み 3 新型コロナの時代に即したセーフコミュニティ活動の展開 4 総合高齢社会対策の取組みについて 5 意見交換 6 閉会	
提出された資料等	資料1 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた各種取組み 資料2 新型コロナの時代に即したセーフコミュニティ活動の展開 資料3 総合高齢社会対策の取組みについて 資料4 委員名簿 参考資料1 学校の安全(インターナショナルセーフスクール)の活動報告	
公開の 可否	会議	■公開 □非公開 □一部非公開 傍聴人数 0人 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議 録	■公開 □非公開 □一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	会長	区長 高野 之夫

<p>(順不同、敬称略)</p>	<p>池袋西地区環境浄化推進委員会委員長 外山 克己  豊島区高齢者クラブ連合会会長 (同上)  豊島区町会連合会副会長(第3地区) (同上)  池袋西口駅前環境浄化推進委員会委員長 加藤 竹司  大塚駅前環境浄化推進委員会委員長 林 洋  豊島区商店街連合会会長 菊池 章二  NPO 法人ソメイヨシノの里ひろば駒込理事長) (同上)  豊島区町会連合会副会長(第10地区) (同上)  東京商工会議所豊島支部会長 (代理)栗野 浩  渡邊建設株式会社 代表取締役社長 (同上)  豊島区観光協会名誉会長 齊木 勝好  豊島区観光協会 会長 近江 正典  豊島産業協会会長 (代理)伊藤 伸治  豊島法人会会長 南山 幸弘  豊島区民生委員児童委員協議会会長 寺田 晃弘  長崎第一地区民生委員児童委員協議会会長 (同上)  委員 豊島区民社会福祉協議会会長 (同上)  【区 豊島区障害者団体連合会会長 磯崎 たか子  内団 豊島区青少年育成委員会連合会会長代行 白熊 千鶴子  体】 豊島区地区青少年育成委員会会長(第7地区) (同上)  豊島区保護司会会長 山元 俊一  豊島区医師会会長 (代理)細谷 純二  豊島区薬剤師会会長 佐野 雅昭  豊島区町会連合会副会長(第1地区) 古沢 秀明  豊島区町会連合会副会長(第4地区) 重田 軍司  豊島区町会連合会副会長(第5地区) 河手 啓一  豊島区町会連合会副会長(第6地区) 池田 好雄  豊島区町会連合会副会長(第7地区) 田中 英治  豊島区町会連合会副会長(第8地区) 市川 幸雄  豊島区町会連合会副会長(第9地区) 塚田 義信  豊島区町会連合会副会長(第11地区) 榊原 清  豊島区町会連合会副会長(第12地区) 竹野 康二  NPO 法人南大塚おひさまひろば (同上)  セーフコミュニティ対策委員長(高齢者の安全) (同上)  区民ひろば仰高運営協議会会長 関根 春夫  区民ひろば朋有運営協議会会長 石川 宜司</p>
------------------	---

	<p> NPO 法人池本ひろば理事長 森 淑夫  NPO 法人ひろば西池袋理事長 猪野 美佐子  区民ひろば池袋運営協議会会長 古山 多美子  NPO 法人富士見台ひろば理事長 足立 菊保  NPO 法人おおきな木理事長 直井 浩  NPO 法人ひろばさくら理事長 本山 美子  NPO 法人みみずくの杜理事長 杉岡 敏弘  NPO 法人きんぎょひろば上池袋理事長 戸田 汎  巣鴨地区民生委員児童委員協議会会長 松浦 初枝  池袋東地区民生委員児童委員協議会会長 佐々木 敬彦  高田地区民生委員児童委員協議会会長 岡田 実  長崎第二地区民生委員児童委員協議会会長 福田 房子  豊島区池袋食品衛生協会会長 西岡 孝文  巣鴨防犯協会会長 吉井 公明  池袋防犯協会会長 岡部 俊夫  豊島区町会連合会副会長(第2地区) (同上)  目白防犯協会会長 森田 晴久  池袋母性協会会長 波多野 まつ江  池袋組織犯罪根絶協会会長 菅澤 省吾  日本ガーディアン・エンジェルズ理事長 小田 啓二  豊島防火防災協会会長 関根 靖俱  豊島消防少年団団長 鈴木 謙二  池袋消防少年団団長 西野 浩通  NPO 法人としまNPO推進協議会代表理事 柳田 好史  東京青年会議所豊島区委員会委員長 松崎 絵里子  豊島区体育協会会長 (代理)小林 幸栄  豊島区ラジオ体操連盟会長 副島 健  豊島区スポーツ推進委員協議会会長 寺門 孝史  豊島区ボーイスカウト連絡協議会会長 鈴木 順一  東京都宅地建物取引業協会豊島区支部支部長 浅原 賢一  東京都宅地建物取引業協会豊島区支部社会貢献委員長 深山 大介  東京都建築士事務所協会豊島支部支部長 小山 清弘  全日本不動産協会豊島文京支部支部長 荻原 武彦  池袋交通安全協会会長 山本 昇  目白交通安全協会会長 織本 真一郎  巣鴨交通少年団団長 西脇 明 </p>
--	--

	<p>池袋交通少年団団長 今田 充保  目白交通少年団団長 横田 喜廣  豊島区立中学校PTA連合会会長 御代 恒  豊島区地区青少年育成委員会会長(第5地区) 吉田 郁子  豊島区地区青少年育成委員会会長(第11地区) 山本 道子  池袋四丁目町会会長 平田 光子  公募委員 (同上)  東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会会長 (同上)  NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長 栗林 知絵子  東京音楽大学 事務局長 (代理) 與 平作  豊島区民社会福祉協議会事務局長 (代理) 広瀬 孝一  豊島区シルバー人材センター事務局長 陣野原 伸幸  社会福祉法人フロンティア理事長 水島 正彦  豊島区立小学校校長会(目白小学校校長) 西村 浩  豊島区立中学校校長会(千登世橋中学校校長) 小林 豊茂  公募委員 松原 明美  公募委員 平井 千鶴子  公募委員 柴田 泰孝  公募委員 石川 サチ子  セーフコミュニティ対策委員長(子どものけが・事故予防) 武居 裕子  セーフコミュニティ対策委員長(障害者の安全) 長谷川 則之  セーフコミュニティ対策委員長(児童虐待の防止) 高田 慶子  セーフコミュニティ対策委員長(DVの防止) 吉祥 眞佐緒</p>
<p>委員  【インターナショナルセーフスクール認証校】</p>	<p>豊島区立朋有小学校校長 (代理) 常井 健司  豊島区立池袋第一小学校校長 内田 典子  豊島区立富士見台小学校校長 酒井 由江  豊島区立高南小学校校長 田中 明  豊島区立清和小学校校長 野村 佳男  豊島区立千川中学校校長 永野 祥夫  豊島区立さくら小学校校長 後藤 大輔</p>

委員 【官 公 庁】	警視庁目白警察署長（代理）木内 昭朗 東京消防庁池袋消防署長 金枝 俊宏 東京都第四建設事務所所長永井 伸芳 東京都児童相談センター相談援助担当課長 加藤 夕起子
委員 【区】	区長 高野 之夫 副区長 齊藤 雅人 教育長 金子 智雄 危機管理監 岡谷 晃治 セーフコミュニティ対策委員長(繁華街の安全)(同上) 保健福祉部長 田中 真理子 池袋保健所長、健康担当部長 植原 昭治
区職 員	セーフコミュニティ推進室長 棚島 匠 治安対策担当課長 黒澤 昌史 総合高齢社会対策推進室長 渡邊 圭介 地域区民ひろば課長 活田 啓文 子育て支援課長 山本 リカ 教育施策推進担当課長 坂本 大

## 【1 開会】

(治安対策担当課長)

それでは定刻になりましたので、令和3年度豊島区生活安全協議会及びセーフコミュニティ推進協議会並びに、総合高齢社会対策推進協議会の3協議会をはじめさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。まずはじめに、配布資料の確認をさせていただきます。配布資料につきましては1、2、3、4、5とございます。ご確認をお願いします。続きまして、新委員を紹介いたします。本来は、新委員をお一人ずつご紹介の上、一言ご挨拶をいただきたいところですが、時間が限られておりますので、誠に恐縮ではございますが資料4、委員名簿をお配りすることで、ご紹介に代えさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。まず、開会にあたり、3協議会の会長である高野区長から挨拶いたします。高野区長よろしく願いいたします。

(区長)

みなさまこんにちは。今日は3合同協議会ということで開催をさせていただいております。コロナ禍ということもあり、皆さん方にお会いするのは、前回の3合同協議会から1年半ぶりということで本当に久しぶりに顔を会わせての開催です。この会場も素晴らしく LED の美しいスクリーンを使ってご挨拶をさせていただいております。この様子はちょうど1年半前に開かれたこの会場で協議をした、様子です。皆さん方とお会いするのは本当に久しぶりでございます。昨年一昨年は、コロナの第1波、第2波、第3波と猛威を振るい続け、今年に入りまして新春の集い、成人式は無事に終わることがましたが、このところ感染者は増えております。昨日は1万3千人、東京だけでも2,198人ということでした。2千人台になりましたのは昨年の9月以来で、大変緊張感をもって対応しております。特に、今日のこの会場も万全の対策をとって皆さん方をお迎えしております。何としてもコロナに打ち勝っていかないと。また、コロナの収束はワクチン接種しかないというわけで、ほとんどの皆さんもコロナワクチンを1回2回と接種していただいたと思います。その接種率は、なんと83%を超えるという私たちが想定した以上の接種率となりました。皆さんのご協力もあってこれで収まればよかったですけれども、ワクチン接種は3回目ということになろうかと思えます。65歳以上の方には3回目の案内を21日に接種券を発送し、順次接種していただくことになろうかと思えます。何としても3回目の接種も皆さん方のご協力を賜り、コロナの収束をさせたいと思っております。ワクチン接種率は、1月12日現在で83.1%これが1回目、2回目もほぼ同じような、65歳の方はなんと90%を大きく超える、これは全国レベル、また東京都内23区内でもトップクラスの高い接種率ではないかと思っております。

次に、1999年、私が区長に就任したときの財政破綻の危機があり、何としてもこの危機を脱し、そしていい街づくりをすることが、安全安心の街にならなくてははいけないということでセーフコミュニティの国際認証を取得したのが2012年です。今日はその協議会のメンバーもお越しいただいていると思います。そして、2014年には消滅可能性都市の指摘を受け、持続可能

都市へ大きく政策展開をということで、総合高齢社会対策推進協議会、これにスイッチしました。また、2019年にはご存じの「東アジア文化都市」、日本を代表し、中国・韓国を代表する都市と1年間交流をさせていただきました。これは豊島区としてゆるぎない文化都市としての大きな実績を得たと思っております。そのあと、東アジアが終わった途端にコロナが発生したわけです。2年間大変なコロナ禍で、その閉塞したものを何としても乗り越えたいという強い思いでSDGs未来都市、そしてモデル事業、東京で初めて内閣府からの制定を受けたということでございます。まさにSDGsの精神であります誰一人取り残さない社会を実現する、これが大きな目標になります。そして、今年に入り、いよいよ90周年を豊島区は迎えます。苦しい道の中、90周年をむかえるわけですが、この90周年を、次なる100周年に向けて、様々な展開をしてみたいと思います。まさにこの90周年は、過去から学び今日のために未来に対して希望をもつということでございます。

これは4つの公園を中心にして池袋駅、中心であります、池袋西口と東口、そしてこの4つの公園がまさに街づくりの中心でございます。この4つの公園を中心に、真っ赤なイケバスが回遊をしているわけです。まさにまちなか交流都市ともいって良いのではないかと思います。このようにそれぞれの1つ1つの公園が特色を出しております。

池袋西口ではグローバルリングといわれ、野外劇場、これはまさに日本の誇る、世界でも通用するような野外劇場ではないかと思います。また、南池袋公園、駅から近い公園でありながら、芝生が青々とした中で憩いの場として本当に注目を集めておりまして、来週は野田聖子大臣がいらっやあって、ぜひ南池袋公園を見たいというリクエストをいただいているわけです。

さらにはハレザ池袋という形で、庁舎が移ってそのあと再開発で見事に大きくまちは劇場を中心に変わったわけです。最後は、昨年このイケサンパークという、豊島区内では一番大きな公園、芝生を敷き詰めながら、様々なイベントを行なっています、本当に区民の憩いの場ともなっています。このように4つの公園が街を変えていく、今豊島区では大変厳しいコロナ禍にあっても、皆さんの力を借りながら文化というものを中心にしながら、安心安全でそして本当に魅力のある街を推進しています。

お話し長くなりました、最後に1つの、この池袋中心、特に池袋が回遊性のあるまちを作っていく。かつて「駅袋」といわれ、駅ですべてが処理できるのではなく、駅周辺の街づくり、そのためにも西口の開発が着々と進んでいくわけです。その西口に出ていく、その入口がサンクンガーデンといわれる、駅に滞留してしまう大勢の方をいかに街に魅力をつけて外に出していくという。これはあくまでもイメージですけれども、今日は新年早々ということもあり、みなさんにワクワクするような絵を示させていただきました。いよいよ90周年の2022年、さらなる躍進で豊島区がより発展していきますように、皆さんとともに力合わせていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(治安対策担当課長)

高野区長ありがとうございました。それでは、議事を進めます。まず、次第の議事2「区からの

報告」の一つ目「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた各種取り組み」について、私から説明いたします。

【1 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた各種取り組みについて】

説明:治安対策担当課長（資料1）

（治安対策担当課長）

説明は以上となります。なお、議事2については全てご報告いたしました後、皆様と意見交換の場を設けますので、あらかじめご了承ください。続きまして議事2の二つ目「新型コロナの時代に即したセーフコミュニティ活動の展開」、についてセーフコミュニティ推進室長から説明があります。

【2 新型コロナの時代に即したセーフコミュニティ活動の展開について】

説明:セーフコミュニティ推進室長(資料2)

（治安対策担当課長）

続きまして、議事2の三つ目「総合高齢社会対策の取り組みについて」、総合高齢社会対策推進室長から説明があります。

【3 総合高齢社会対策の取り組みについて】

説明:総合高齢社会対策推進室長（資料3）

（治安対策担当課長）

ありがとうございました。続きまして、次第に記載はございませんが、参考資料1学校の安全インターナショナルセーフスクールの取組みについて教育施策推進担当課長より説明がございます。

【4 学校の安全(インターナショナルセーフスクール)の活動報告】

説明:教育施策推進担当課長（参考資料1）

（治安対策担当課長）

ありがとうございました。それでは、これまでの議題を含めまして、皆様と意見交換をさせていただきます。ここからの進行は高野区長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。



## 【6 意見交換】

(区長)

ただいま豊島区生活安全協議会、セーフコミュニティ推進協議会、そして総合高齢社会対策推進協議会、それぞれの説明がありました。皆様から、忌憚のないご意見をいただきたいと思えます。本来なら皆様お一人お一人からご意見を頂戴したいところですが、コロナ禍ということもあり時間に限りがございます。大変恐縮ですが、私の方から指名しご発言をいただきたいと思えます。私からご指名いたしますのでよろしく願いいたします。それでは、はじめにNPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長にご発言いただければと思えます。

## 【意見交換】

(NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長)

ありがとうございます。私は池袋に住んでおりまして、豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク、という NPO が 2012 年にできました。区長のほうから 90 周年というお話がありましたが、豊島区が 70 周年事業としてプレーパークという遊び場、公園を作ってくださいました。そこに自分の子どもを連れて行って遊びに行くうちに、段々地域の子もみんなが可愛くなってきて、地域の子も地域の人で見守り育てていきたいということで、NPO になりました。児童虐待防止の見守りの支援を任せられて、去年今年と地域の子にお菓子などをもって直接子どもとつながるということをさせていただきました。特にひとり親家庭と外国にルーツのある子どもがいる家庭、経済的にもコロナ禍で大変というような家庭にお菓子をもって地域の方が訪問してくださいました。私は民生委員で、高齢者のところには以前も訪問していたが、今回子どものところに訪問するという今までにない、取組を豊島区が企画してくださったことに感謝申し上げます。地域と親がつながりがない、ひとり親や外国のルーツで地域とつながりのない家庭は、親も子どもも孤立しています。そんなことにお裾分けのようなお菓子をもっていくことで、つながるということは、今後災害が起きた時にもこのつながりが有効になるのではないかと思います。そんな思いで子どもを中心にした、区民が中心になったセーフティネットを作っていきたいと思えます。今回はありがとうございます。来年度もぜひ続けていただけたらと思えます。以上になります、ありがとうございます。

(区長)

どうもありがとうございました。ただ今のご発言を踏まえて、保健福祉部長。

(保健福祉部長)

保健福祉部長です。ありがとうございます。今日は子ども家庭部長がおりませんので代わりにお答えいたします。孤独とか孤立とかは、社会全体でクローズアップされている問題だと思えます。ちょっと前まではお年寄りとかがそういった方が孤立・孤独になりやすいと報道されてお

りましたが、今はそういう時代ではなくて、お子さんがいる家庭でもありますし、若年の方でも男女関係なく生きづらさをかかえて生活されている方が非常に多い、コロナで感染が拡大してから一掃拍車がかかったと認識しております。お子さんを中心とした方々に、また孤立・孤独に対する様々な方に対して対策をしていくということも必要ですし、だれにでもそういう状況は起こりえるんだということで様々な施策を展開して参りたいと思います。ありがとうございました。

(区長)

次に、豊島区立中学校PTA連合会会長お願いいたします。

(豊島区立中学校PTA連合会会長)

中学校PTA連合会会長、巣鴨北中学校PTA連合会会長です。よろしくお願いいたします。巣鴨北中学校はISS認証校ではないのですが、「安全・安心な学校づくり」は認証校以外でも重要な課題と思っております。全校で「安全・安心な学校」を作っていく必要があると思います。新規でISSを認証する学校は今年度のさくら小学校と千川中学校で最後ということですが、今後は参考資料に記載のあるとおり、認証していない学校にもISSのノウハウを生かした「安全・安心な学校作り」を展開していきたいと思っております。10年間で培ってきたノウハウを最大限活用し、なるべく負担は少なく、得るものは多い形で実施していく必要があると考えております。「安全・安心な学校」とは、生徒だけでなく保護者にとっても、安全で安心できる学校ということだと思っておりますので、今までと変わらず、PTAとしても「よりよい学校づくり」にできる限り協力していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(区長)

学校づくりということで、教育長。

(教育長)

ご報告ありがとうございました。先ほどもおっしゃっていただいたように、学校は1校だけでは成り立ちません。地域の方々に本当にいつも支えられております。ありがとうございます。今年度SDGsも、全校で何かしらの取組みをしております。その際は必ず地域の方、あるいは企業の方と一緒にやる、ということでやっております。もともとやっておりますインターナショナルセーフスクールの取組みは、最もSDGsとしてわかりやすい基本となる、取組みだと思っております。したがって認証のあるなしに関わらず、この活動については教育員会としては全校を応援して、何かしらの形を持って子ども達の安心安全を、地域のみなさんと一緒に考えていきたいと思っております。ありがとうございました。

(区長)

それでは次に、NPO 法人ひろばさくらの理事長からご発言をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(NPO 法人ひろばさくら理事長)

はい、NPO 法人ひろばさくら理事長です。区民ひろばは、「世代間交流」、そして「高齢者の健康活動支援」、「子育て支援」のほかに、「セーフコミュニティの拠点」として取り組みの充実を図っております。本日のこの3つの協議会の「地域コミュニティの拠点」でもあると思っております。平成 20 年9月に地域住民が参加をして、区民ひろばさくらの運営協議会を立ち上げました。その後、平成25年 10 月から「NPO法人ひろばさくら」となり、自主運営を行っているわけでございます。さくらの会員は「いきいき部会」「こども部会」そして「世代間交流部会」の 3 つの部会がそれぞれに活動をいたしております。理事・会員は地域に貢献するとともに、親睦を深めています。地域の拠点となり「地域の和」を大切に気持ちよく利用していただけるような、ひろばを目指して活動の幅を広げています。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、区民ひろばを休館した時期もありました。人と人の繋がりが断たれがちなコロナ禍だからこそ、区民ひろばを中心とする地域のつながりを更に深めていきたいと思っております。今後もSDGs関連事業やさくら小学校とのインターナショナルセーフスクールの活動などにも協力してまいりたいと思っております。ぜひ区としてもこれまで以上に区民ひろばを活用していただいて、あらゆる尽力をしていただけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(区長)

ありがとうございました。今のご意見に関して、地域区民ひろば課長。

(区民ひろば課長)

委員長ご挨拶ありがとうございました。地域区民ひろば課長です。どうぞよろしくお願いいたします。私の方からコメントさせていただきます。地域区民ひろばは、22 の小学校地区に 26 施設の区民ひろばを整備し、拠点として開所しております。22 地区のうち 11 地区は、ひろばさくらをはじめとしたNPOが運営しております。自主運営でございます。地域コミュニティの拠点だけでなく、今後は SDGsの拠点としても一緒に展開していきたいと思っております。また、90 周年の事業について、各広場で自由に使えるような予算組みをし、地域の特性を生かした展開を行なって参りたいと思っております。ありがとうございました。

(区長)

どうもありがとうございました。続きまして高田地区の民生児童委員協議会会長お願いします。

(高田地区民生委員児童委員協議会会長)

高田地区の民生児童委員です。高齢者の外出促進について意見を述べさせていただきます。長引くコロナ禍で外出を控えている高齢者が多い中、安心して外出できるような環境づくりをすることが今まさに必要なだと考えております。地域住民や関係機関、街のお店、企業、行政などが協働して取り組むことで、つながりのある区民にやさしい地域づくりをすすめていただきたいと考えます。例えば、高田地区の民生児童委員や町会関係者の協力で今取組んでいる事業として、「としまベンチプロジェクト」がございます。簡単に紹介しますと、「地域にベンチをおこう」「外出者を支援しよう」という運動でございます。運動のスタートとして全員で地域を歩きました。ここにはベンチが置けるのではないかと、ここにはベンチがあつたらいいんじゃないかと、みんなで相談しながら歩いて参りました。また、すでにお店等の前にベンチがおいてあるところは、お客様用のベンチを区民の皆様用に変えられないか、そんなことを考えながらこの運動をスタートさせました。買い物や散歩の途中に腰掛けて休んだり、重い買い物の荷物を置いたりできる場所となっております。したがって、これは単なる高齢者の支援というだけでなく、「買い物支援」であったり、そのベンチを中心に利用者同士のコミュニケーションも発生しているわけでありです。現段階ではまだモデル的な取組みですけれども、徐々に区内全域に広げていくことで今後、高齢者がまた、誰もが外出するときの計画、自分の行動計画も広がっていくのではないかと考えますし、これが広まることによって地域にオアシスができて、一つのベンチを中心に地域のみなさんのコミュニケーションの場にもなるのではないかとということで、今後とも取組みを進めて参りたいと思います。区全体の取組みになるようにぜひ今後ともよろしくお願いいたします。以上です。どうもありがとうございました。

(区長)

大変素晴らしい取組み、ご提案をいただきました。では、総合高齢社会対策推進室長。

(総合高齢社会対策推進室長)

はい、総合高齢社会対策推進室長からお答えいたします。会長ありがとうございました。今、外出促進のお話しをしていただきましたけれども、コロナ禍におきまして高齢者だけでなく多くの方が、中々外出ができない、という事態になっていました。外出ができないということになりますと、足腰が弱ったり、また、会話をすることが非常に少なくなったり、特に高齢の方、おひとり暮らしの方も多、となりますとこれからどういうふうに生活をしていくんだらうと、不安が大きい状態になるのかなと思っております。そんな中で今ご紹介いただきました、ベンチのプロジェクト、今高田地区でモデル的にやっていたというところでも、そこに座ってまたみなさん集っていくことによって、新たな交流が生まれて、また支援していく輪が広がる、これは中々行政だけではできない取組みです。地域の方々がこのように取組んでいることは本当に有難く思っております。全区的に広がりを持たせるということは、地域ごとの特性も色々ございまして、課題も出てくるとは思いますが、一つ一つ課題クリアをしながら、全区的な広がりができるような形で取組んでいきたいと思っておりますので、今後と

もご協力お願いいたします。以上でございます。

(区長)

ありがとうございました。まだまだご質問等たくさんあるかと思いますが、最後に長崎第二地区民生委員児童委員協議会会長お願いいたします。

(長崎第二地区民生委員児童委員協議会会長)

長崎第二地区民生委員児童委員協議会会長です。どうぞよろしくをお願いいたします。私は成年後見制度についてお話ししたいと思ひ、民生委員といたしまして熱中症対策とか高齢者の実態調査とかでもって、高齢者のお宅を訪問するなどしております。コロナ禍で中々皆様にお目にかかることがないのですが、その中で、自分の高齢化によって十分なものの判断をできなくなったってことに対して大変に不安を持った方が多くなり、その中で、判断能力が落ちながらも、安心して「残りの人生を安心して過ごしたい」とうふうに願っている方はたくさんいるので、今回の豊島区の成年後見制度に取組みをしていただけることは、大変意義のある制度だと思っております。また、判断能力がおちて、立場が弱い人が不利益にならない様な制度で考えてしっかりといただきたいと思ひますし、こういうふうにはいい制度を作ってもらっても、中々必要とする方にいい情報というのは届かないもので、成年後見制度は中々わかりにくい言葉かと思ひますので、みなさんに理解していただきながら、伝わりやすい周知していただく。豊島区としてはどのように周知するのか、そのへんのところをお聞かせいただければと思ひます。

(区長)

それでは引き続き、総合高齢社会対策推進室長。

(総合高齢社会対策推進室長)

引き続き回答させていただきます。会長ご意見いただきましてありがとうございました。成年後見制度ですが、先ほどスライドでもご説明しましたとおり、昨年12月に、基本計画、条例の方を策定をさせていただきました。弱い人が不利益を被らないように、現在ですね、成年後見制度につきましては、社会福祉協議会の中に「サポートとしま」というところがございまして、そちらの方へ権利擁護の関係を担っていただいております。今回基本計画を作り、また条例も作り、取組みをするということになります。区が、積極的にかかわりながら、そして社協の方に連携をしながらすすめるということでございますので、今後わかりやすい周知を色々な形で行なっていきたいと思っております。けれども、いかんせん言葉が難しいということがございますので、ただ単にパンフレットを作って、それをみなさんにお配りするというだけでなく、今後は区民ひろば等、色々な団体を交えながら、積極的に足を運んで、出向いて、そして、周知をしてまいりたいと思ひますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

## 【7 閉会】

(区長)

その他のご意見等、何かありましたら事務局の方にいただければと思います。本日限られた時間で恐縮ではございますが、今いただいた意見を我々もしっかりと踏まえて、これからもよりよい豊島区を作り上げてきたいと思っております。本日は目白警察署の生活安全課長さん、豊島消防署長さん、東京都児童相談センターの相談援助担当課長さん、ありがとうございます。さらには東京都第四建設事務所所長さんありがとうございました。それでは締め言葉として、齋藤雅人副区長からみなさんにお礼を兼ねてご挨拶があります。

(副区長)

みなさんありがとうございました。今から12年前、私がまだ課長だったときですけれど、セーフコミュニティ、今日3協議会がありました、セーフコミュニティの担当をしたことがありまして、2月の22日でしたけれど12年前、こういった会でセーフコミュニティとはこういうものなんですよということ、皆様の前で説明した記憶がございます。セーフコミュニティでは、地域の課題ですとか、それから情報、それぞれみなさんのご活動を、いかにして横ぐしてつないでいくことができるか、共有していくことができるか、地域の安心安全を守るために皆様のお力が必要であると、それがセーフコミュニティであるということを申し上げた記憶があります。それから区制施行80周年で国際認証を取得して、それから10年、先ほど高野区長が申し上げたとおり区制施行90周年。安心安全の取組みを10年豊島区では続けてこられたわけでございます。これもひとえにみなさまのご理解とご協力があり、改めて感謝を申し上げたいと思っております。特に、セーフコミュニティでは消防警察とのみなさんとの連携が非常に重要でありまして、去年は、警察の中核にいらした岡谷晃治さんを危機管理監にお迎えすることもできました。豊島区の安心安全にとっては大きな戦力であると思っております。本当に今日は短い時間でありましたけれども、これから先も、皆さまのお力を頂戴しながら、皆様と共に続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

(治安対策担当課長)

どうもありがとうございました。以上を持ちまして、生活安全協議会・セーフコミュニティ推進協議会・総合高齢社会対策推進協議会の合同協議会を終了させていただきます。委員の皆様長時間にわたりありがとうございました。